

熊本医療センター

「レンバチニブ+ペムブロリズマブ療法

服薬サポート（テレフォンプォロー）」導入について

【背景】

進行・再発子宮体癌に対して行っているレンバチニブ（マルチキナーゼ阻害剤）＋ペムブロリズマブ（免疫チェックポイント阻害剤）療法は、免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連有害事象（irAE）に加え、マルチキナーゼ阻害剤に特有の副作用にも注意する必要があります。

多様な副作用症状と発現時期も異なるため、主治医が外来診察時に、すべての症状を把握することが困難な場合が考えられます。

【目的】

診察前に副作用症状を把握することができれば、副作用確認の検査、他科コンサルトなどを漏らすことなく実施でき、副作用早期発見、増悪を防ぐことができると考えます。

今回、レンバチニブ＋ペムブロリズマブ治療中の子宮体癌患者において、在宅治療での副作用発現状況を把握するため、保険調剤薬局薬剤師に服薬サポート（テレフォントロウ）導入をお願いします。

【方法】

外来にて、レンバチニブ+ペムブロリズマブ療法を行っている患者に対して、保険調剤薬局薬剤師が、聞き取り期間に電話で副作用症状について情報共有シートを使用し確認します。

保険調剤薬局薬剤師は、聞き取った内容を情報共有シートに記載し、次回外来受診の前日までに、熊本医療センター薬剤部へFaxします。 Faxされた情報共有シートは、薬剤部より婦人科外来へ提出します。

- 【聞き取り期間】 1 サイクル – day19-day21
 2 サイクル以降 – day10-day21

↑: 投与日 ▲: 外来受診予定日 ■: 聞き取り期間

	1サイクル							2サイクル							3サイクル																																								
	入院 (1週目)							外来 (2週目)							外来 (3週目)																																								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7						
投与日	↑																					↑																					↑												
ペムブロリズマブ	↑																					↑																					↑												
レンバチニブ	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑														
外来受診予定日															▲							▲																				▲													
聞き取り期間																																																							

テレフォンプォロー



電話で
ご様子確認
情報共有シートを使用



情報共有シートを受診前日までに
医師に渡す
重篤なAEは即日報告

服薬サポート（テレフォンフォロー）フローチャート

★外来受診日

聞き取り期間

外来診察前日まで

外来診察日

